

■ 目的

木質バイオマス燃料の品質規格の国家規格導入に向け、過去のNEDO事業で作成された規格案の国家規格策定に係る課題・情報の整理と品質規格の普及へ向けた土壌形成

■ 目標

- ・国家規格化に向けた手続きや国家規格の運用方法等の整理
- ・品質規格の普及に向けた技術的知識の整理とそれを元にした手引書作成

■ 背景

木質バイオマスの利用には、燃料とボイラー等のマッチが重要であり、**燃料供給者と使用者の間の共通の物差し**として、品質規格が有益である。しかし品質規格を策定しても、品質規格が広まらなければ意味がない。品質規格の普及方法として、**プッシュ型アプローチ（押しつけ）**ではなく、**プル型アプローチ（ニーズ・必要性）**を高める必要が有る。

■ 主な調査項目

- ①国家規格の策定に向けた具体的な手続や、国家規格策定後の運営方法に係る検討
- ②木質チップ・ペレットの品質規格の普及に向けた品質安定等に資する情報が記載された手引の策定に係る検討

■ 2025年度の主な成果

- ①木質バイオマスの燃料に関する規格は、JIS/JASいずれもありうる。JIS/JASのいずれの場合においても、公表されている文書等を参考に規格原案を作成するなどの手続きを経ることによって、国家規格化が可能となることが明らかになった。

- ②-1 手引書記載のための国内事例のアンケート調査。
対象：ペレット関連事業者（計36社）
調査結果は図1、図2参照のこと

- ②-2 手引書記載のための国内優良事例のヒアリング調査
対象：ペレット関連事業者（20者）
ヒアリング調査を元に製造工程において木質ペレットの品質安定に関する事例を調査。

- ②-3 バイオマス発電所での事故防止に向けた安全性に関する報告書が
消防庁や経済産業省から公表され、後述の手引書において紹介した。

- ②-4 2024年度および2025年度の成果を元にした、
【木質バイオマス燃料の品質安定に向けた手引書 ～品質に基づく取引・製造事例～】の作成および協会HPにおける公開

- ②-5 成果普及のためのセミナーを国際バイオマス展（開催場所：東京ビッグサイト）にて開催。
また、当協会ブースにて手引書の配布を行った。

■ 課題と今後の取組

【課題】

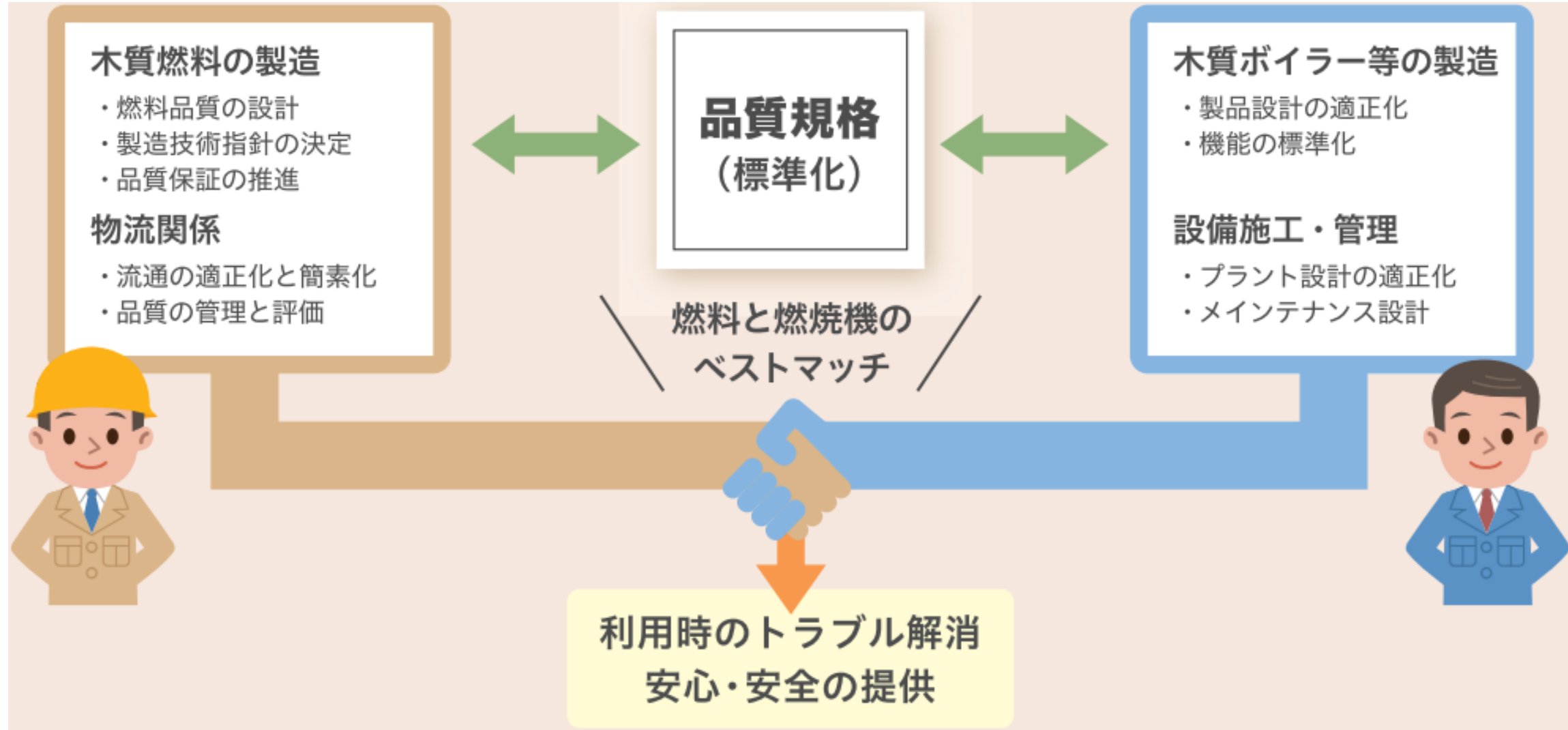
調査上の残された課題は特にないが、規格化に向けては、作成された規格案がJIS/JAS原案作成団体による修正作業が必要となる。また、手引書の認知度向上が必要。

【今後の取組み】

作成した手引書は当協会HPで公表しており、認知度の向上のため、セミナー等での紹介を図る。

■ 実用化・事業化の見通し

品質規格の策定・普及には事業者間、業界全体での品質規格のニーズを高める必要がある。
本事業での成果を普及し、有効活用することで、木質バイオマス燃料の品質規格の円滑な国家規格導入が見込める。



定期検査の実施

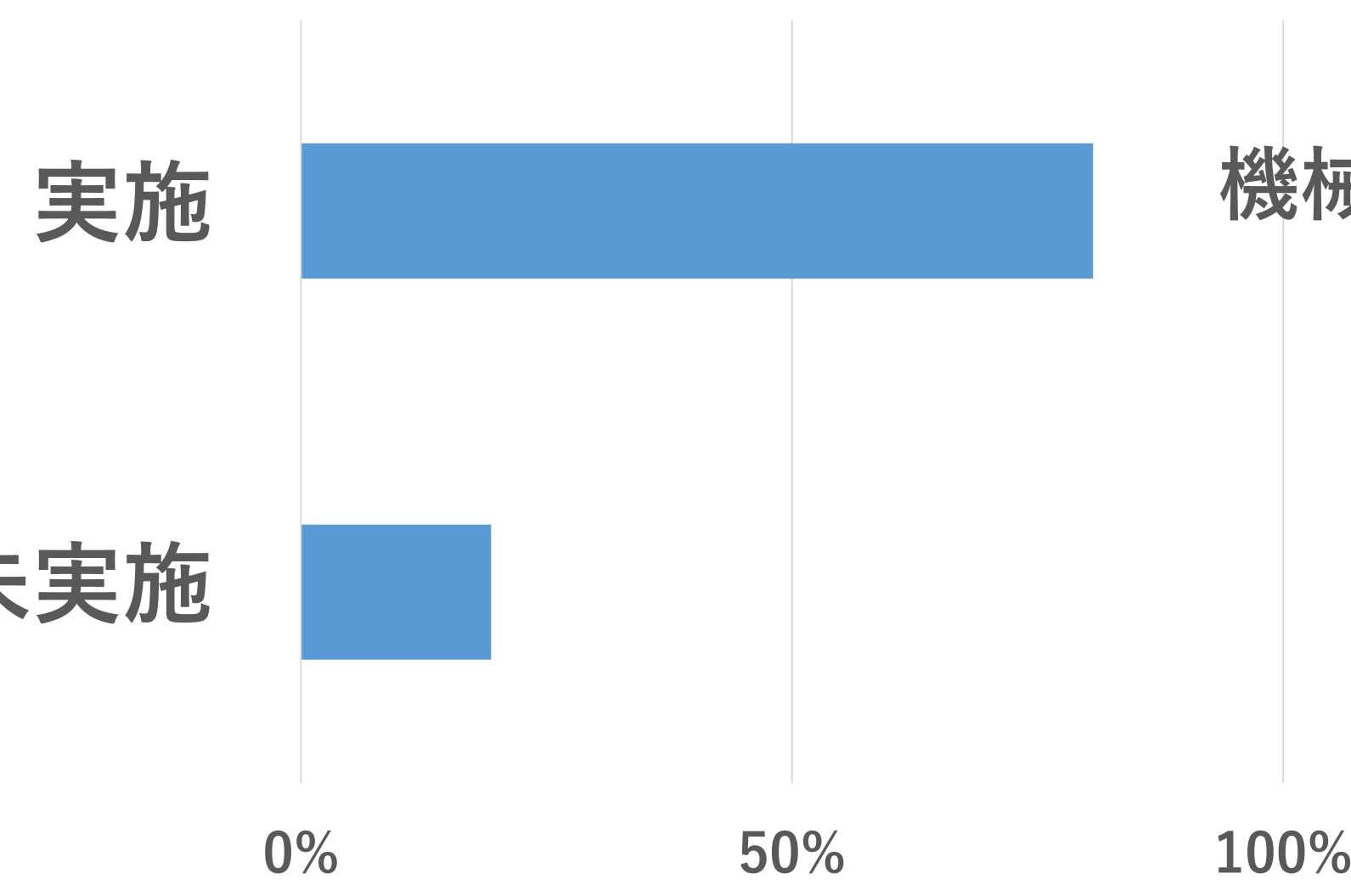


図1.定期検査の実施（ペレット製造工場）

検査実施項目

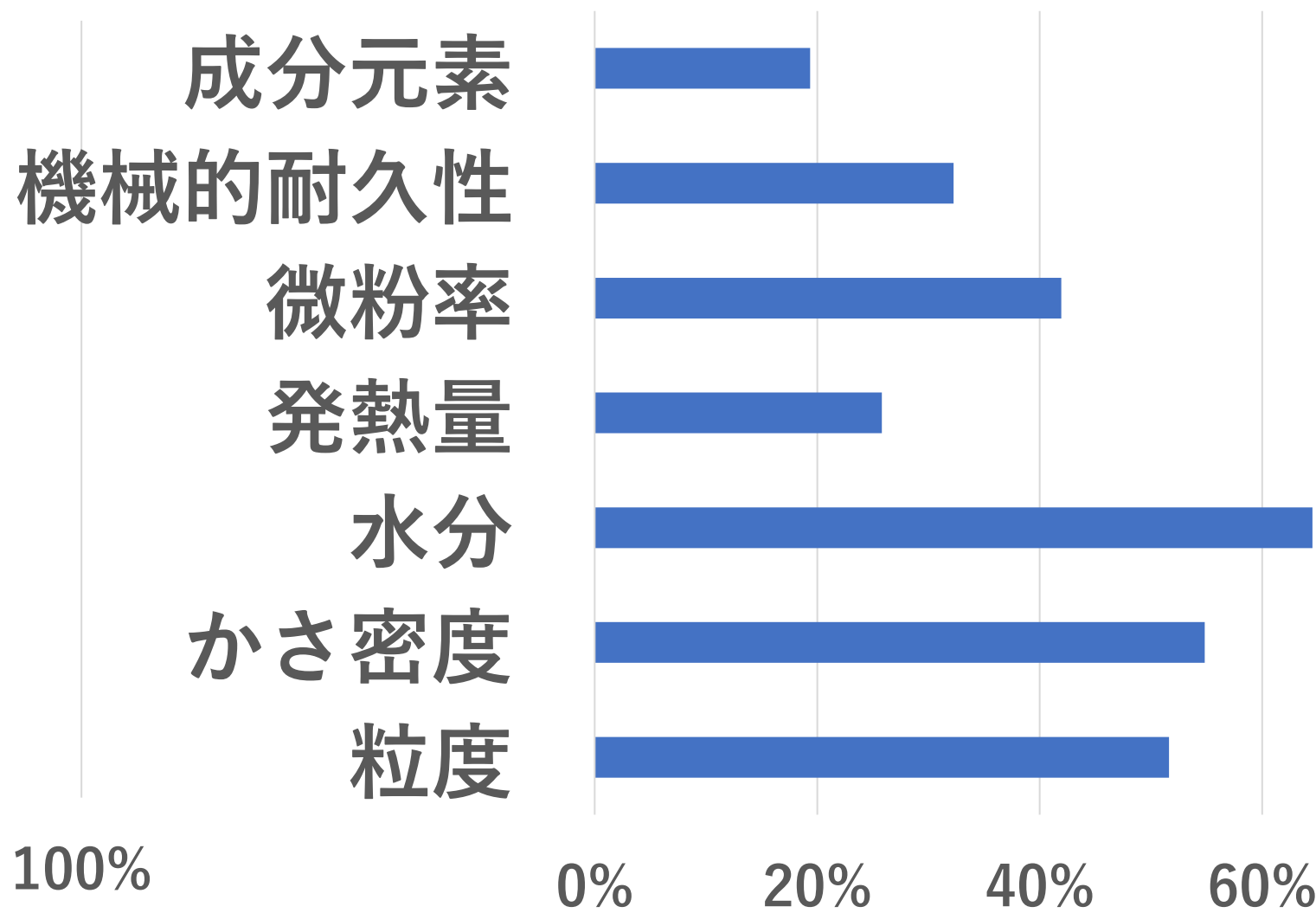


図2.検査実施項目

